

岩見沢市新病院建設工事施工予定者選定
公募型プロポーザル審査結果報告書

令和6年4月

岩見沢市新病院建設工事施工予定者選定
公募型プロポーザル審査委員会

岩見沢市新病院建設工事施工予定者選定

公募型プロポーザル審査委員会

委員長 笥 淳夫

副委員長 石橋 達勇

委員 渡辺 亮

小倉 滋明

高橋 典彦

原田 和幸

坂野 靖文

池田 文隆

1 審査結果

岩見沢市新病院建設工事施工予定者選定公募型プロポーザル審査委員会（以下、「審査委員会」という。）は、審査を厳正かつ公正に行った結果、次の者を優先交渉権者に特定しました。

優先交渉権者 大成建設株式会社 札幌支店

次点者 なし

2 技術提案書等の提出までの経過

（1）プロポーザル実施方法等の決定

令和5年12月4日（月）に第1回審査委員会を開催し、委員7名の出席のもと、岩見沢市新病院建設工事施工予定者選定に係る公募型プロポーザル実施要領、各種様式、業務仕様書などについて決定しました。

（2）公告

令和5年12月5日（火）に新病院建設工事施工予定者選定に係る公募型プロポーザルの実施について、岩見沢市立総合病院ホームページに掲載しました。

（3）参加表明に関する質疑の提出及び回答

令和5年12月11日（月）に1者から26件の質疑の提出があり、令和5年12月15日（金）に岩見沢市立総合病院ホームページに回答を掲載するとともに、質問の提出者へメールで回答しました。

（4）参加表明書等の提出

令和5年12月21日（木）に1者（以下「A者」という。）から参加表明書等の提出がありました。

(5) 参加資格要件の審査結果通知及び技術提案書等の提出要請

参加表明書等の提出があったA者について、審査委員により書面審査を行った結果、参加資格要件を満たすと認められたことから、令和5年12月26日（火）にA者に対し、技術提案書等の提出要請を行いました。

(6) 辞退届の提出

辞退届の提出期限である令和6年1月5日（金）までに、辞退届の提出はありませんでした。

(7) 基本設計書（案）の配付

令和6年1月9日（火）に、岩見沢市新病院建設工事基本設計書（案）をA者へ配付しました。

(8) 技術提案に関する質疑の提出及び回答

令和6年1月19日（金）にA者から39件の質疑の提出があり、事務局回答案について審査委員により書面審査を行い、令和6年1月26日（金）に岩見沢市立総合病院ホームページに回答を掲載するとともに、A者へメールで回答しました。

(9) 技術提案書等の提出

技術提案書等の提出期限である令和6年3月7日（木）に、A者から概算工事費見積書（VE／CD提案採用前）及びVE／CD提案書並びに技術提案書の提出がありました。

※VE：バリューエンジニアリング（Value Engineering）の略。商品やサービスの価値を下げずにコストを下げる、または、コストを上げずにその価値を上げる手法を指す。

※CD：コストダウン（Cost Down）の略。商品やサービスの価値の低下を一定程度許容し、コストを下げる手法を指す。

3 プレゼンテーション及びヒアリング並びに審査の経過

(1) プレゼンテーション及びヒアリングの経過

プレゼンテーション及びヒアリングは、令和6年3月25日（月）に開催した第2回審査委員会において、委員7名の出席のもと、次の手順で実施しました。

ア) はじめに、委員に事前配付した匿名の技術提案書等の内容について、相互に理解を深めるために、出席した全委員で技術提案書等を読み込み、意見交換を行いました。

イ) 次に、技術提案書等に対する意見交換を踏まえ、技術提案に係る配点（80点分の配点）について討議を行い、決定しました。

ウ) 次に、参加要請者に対しプレゼンテーション及びヒアリングを実施しました。

プレゼンテーションは、技術提案書等に記載された内容のうち特にアピールしたい点について15分以内で説明を求めた後、委員との間で40分間のヒアリング（質疑応答形式）を実施しました。

エ) プレゼンテーション及びヒアリングが終了した後、提出されたVE/CD提案について下記のとおり審議を行い、採否を決定しました。

①A者から、合計57件、削減総額1,211,974,000円（税込）のVE/CD提案が提出されました。

②審査委員会において、特にCD提案に対して、一定程度の仕様や条件の変更を認めつつ、病院の機能を著しく損なうことのない適切な範囲内の提案であるか審査を行いました。

③その結果、合計45件、削減総額853,574,000円（税込）のVE/CD提案を採用することとしました。

オ) その後、提案について出席した委員全員で理解を深めるために再度意見交換を行い、決定した配点に則り、各委員により採点を行い、技術提案等の評価点を算出しました。

結果は、下記の表のとおりとなりました（小数第3位を切り捨て）。

評価項目		配点	A者
ア	実績	40点	36.00点
イ 技術提案等	【テーマ1】VE/CD提案の全体像	10点	9.42点
	【テーマ2】実施設計段階の技術協力実施方針	15点	13.28点
	【テーマ3】基本設計案への改善提案	15点	13.71点
	【テーマ4】施工段階の実施方針	15点	13.28点
	【テーマ5】地域貢献に関する提案	15点	12.85点
	【テーマ6】その他（自由提案）	10点	8.85点
計		120点	107.39点

※実績の評価点について、提出された参加表明に係る書類をもとに、事務局により定量的に採点した。

※技術提案等の評価点について、審査員一人ずつがテーマごとの配点で採点を行い、平均値を評価点とした。

(2) VE/CD提案採否結果の通知

第2回審査委員会において決定されたVE/CD提案の採否結果について、令和6年3月27日（水）にA者へ通知し、概算工事費見積書（VE/CD提案採用後）の提出要請を行いました。

(3) 概算工事費見積書（VE/CD提案採用後）の提出

令和6年4月8日（月）に、事務局より通知したVE/CD提案の採否結果を踏まえた概算工事費見積書（VE/CD提案採用後）が下記のとおり提出されました。

概算工事費見積額：36,830,596,000円（税込）

(4) 最終審査の経過

最終審査は、令和6年4月11日（木）に開催した第3回審査委員会において、委員5名の出席のもと、次の手順で実施しました。

ア) 提出された概算工事費見積書（VE/CD提案採用後）をもとに、事務局により価格の評価点を算出し、第2回審査委員会にて決定した実績の評価点及び技術提案等の評価点と合計し、総合評価点を算出しました。

結果は、下記の表のとおりとなりました（小数第3位を切り捨て）。

評価項目		配点	A者得点
ア	実績	40点	36.00点
イ 技術提案等	【テーマ1】VE/CD提案の全体像	10点	9.42点
	【テーマ2】実施設計段階の技術協力実施方針	15点	13.28点
	【テーマ3】基本設計案への改善提案	15点	13.71点
	【テーマ4】施工段階の実施方針	15点	13.28点
	【テーマ5】地域貢献に関する提案	15点	12.85点
	【テーマ6】その他（自由提案）	10点	8.85点
ウ	価格（概算工事費見積書（VE/CD提案採用後））	80点	20.00点
総合評価点		200点	127.39点

※価格点は、本業務に対する各者の見積金額について、下記計算式により採点した。

$$(\text{価格点}) = A + \left\{ 20 - \left(\frac{x - m}{m} \right) \times 100 \right\}$$

A: 見積価格が工事参考価格以下の場合は60点、超えた場合は0点

m: 参加希望者のうち最も低い見積価格

x: 見積価格（ただし、 $x > 1.2 \times m$ の場合、 $x = 1.2 \times m$ とする）

イ) 最後に、出席した全委員で総合評価点の得点率が6割（120点）以上であることを確認し、審査委員会の総意として、優先交渉権者にA者（大成建設株式会社 札幌支店）を特定しました。

4 審査の講評

(1) 全体の講評

岩見沢市新病院の整備については、令和4年9月に策定された「岩見沢市新病院建設基本計画」に基づき、令和5年3月より基本設計が進められてきました。

新病院の建設においては、敷地内に現存する北海道中央労災病院を運営しながらの整備計画という施工上の課題に加え、昨今の北海道における建設市況の影響を受けた、これまでに例をみない建設資材や人件費の高騰といった課題に直面した非常に困難なプロジェクトであると捉えています。

そのため、本プロポーザルでは、昨今の状況を踏まえ建設費の削減に重きを置き、VE提案のみならずCD提案も認めたところです。

このような状況の中、本プロジェクトが直面する様々な課題を解決すべく、A者より意欲的なVE/CD提案書や技術提案書が提出されたことに対して心から感謝し、審査委員会として真摯に審査に取り組みました。

(2) 個別の講評（優先交渉権者：A者（大成建設株式会社 札幌支店））

会社として非常に多くの病院建築の実績を持つばかりでなく、経験豊富な技術者が適切に配置されており、その総合力が高く評価されました。

技術協力業務の実施体制について、道内における豊富な実績に基づき、設計支援・施工支援・コスト管理の各担当チームを確立するなど、現実的な体制が提案されていました。また、実施設計における支援スケジュールや、合意形成に向けた情報共有の手法が具体的に提案されていたほか、今後の設計変更に対する積極的な姿勢も評価されました。

基本設計への改善提案について、工期短縮のための積極的な提案がされていたほか、岩見沢市の気象特性に合わせた構造・設備・詳細設計に関する様々な提案がなされていました。また、ランニングコスト低減に向けメンテナンスに配慮した提案についても評価されました。

施工段階の実施方針について、工程計画を精緻に検討した結果、当初想定より3カ月超過する工期となったことを踏まえ、3カ月の工期短縮に向けた具体的な課題が示されていました。また、工事による北海道中央労災病院の運営に与える影響を低減させる方策のほか、地域住民へ工事中の情報を公開する手法といった提案についても評価がされました。

地域貢献に関する提案について、岩見沢市内の建設業者への発注や、消耗品や資材の市内での調達について、具体的な目標金額とともに提案されていることが高く評価されました。

その他の自由提案について、将来における多種多様なロボットの採用に向けた建築的な課題が示されていたほか、アフターケアチームによる竣工後の施設の維持管理に向けた提案がされていました。

(3) 総評

A者は、病院建設の実績が豊富であることに加え、多雪区域での施工実績もあり、施工予定者としての十分な体制と技術力を持つことが評価され、優先交渉権者として特定されましたが、価格については、VE/CD提案の採用後も工事費上限額の目安を大幅に超過する結果となりました。

いまだに建設費の高止まりが続く状況ですが、適正な建設費での施設整備に向け、発注者による施設規模や計画内容の見直しと合わせ、優先交渉権者による一層の検討が行われることで、本事業が円滑に推進されることを期待します。